

(4) 目の不自由な人との接し方

○目の不自由な人は、白い杖を持っています。目の不自由な人が持っている白い杖を白杖といえます。



はく じょう
白 杖

○目の不自由な人が困っていそうなときは、勇気を出して「何かお手伝いしましょうか」と声をかけてください。そのとき「結構です。」

と、断られることもありますが、めげずにまたチャレンジしてください。みなさんが声をかけてくれたことで、目の不自由な人がとても助かることがあります。

きゅう うで はくじょう おお こえ だ
○急に腕や白杖をつかんだり、大きな声を出さないようにしまし
よう。きづかないときは、かる かた て ぶ いちどこえ
みよう。気づかないときは、軽く肩や手に触れてもう一度声をかけて
みましょう。

はくじょう も て はんたいがわ た うで かた
○白杖を持っている手の反対側に立って、腕や肩をつかんでもらっ
て歩きましょう。
ある



め ふじゆう ひと ある まわ ようす ことば せつめい
○目の不自由な人と歩くときは、周りの様子を言葉で説明しましよ
う。かいだん お だんさ みち せま ひだり よ
う。「階段を下ります。段差があります。道が狭いので左に寄りま
しょう。エレベーターにのります。」などなど、みなさんが目で見え
る情報をつた
る情報を伝えましょう。

○「こっち・そっち・あっち」は使わずに、^{つか}伝えたい方向を、^{とけい}時計の
^{はり}針をイメージしながら^{つた}伝えましょう。



例： ^じ3時の位置に、^{はし}お箸があります。

^じ12時の位置に、^{はし}スプーンがあります。

○^め目の不自由な人から^{はな}離れるときは、^{いま}今いる位置を^{おし}教えてあげてか
^{こえ}ら、^{はな}声をかけて離れましょう。